

幸南の風



令和4年4月28日 校長 伊藤 公一 第2号

入学式から20日～1年生について～

新1年生は、入学してから20日が経ちました。今年度は1学級になり、いろいろな面で担任の先生は苦勞しながら学級経営を進めています。どんな形で1年生が4月を過ごしていたのか、支援面から記します。

スタートカリキュラム

幼稚園・保育所・小学校の接続を意識したスタートカリキュラムを実施しています。入学直後の児童の小学校生活へのスムーズな適応を促すとともに、幼稚園・保育所での育ちを生かし、学びの連続性を踏まえた指導内容や指導方法の工夫に努めています。

具体的には、入学式から約2週間のカリキュラムを構成し、それに沿って教育活動を進めています。1週目は、「初めての学校～先生や友達のことを知り、1年生になった喜びを味わおう」をねらいとして、計画を立て実践してきました。簡易給食から始まった給食、毎日教職員が下校時には付き添い、コースごとに下校させました。2週目は、「学校の様子を知り、楽しく生活する」をめあてに、学校探検をしたり、校歌を覚えたり、教科学習も始まりました。

エプロン先生

仙台市では、新入学児童が、小学校の中で安心して集団生活を営み、学習に落ち着いて取り組める環境をつくるために、第1学年のクラスに「生活・学習サポーター」を配置し、担任をサポートしてもらう事業を展開しています。本校では、「エプロン先生」と呼び、11名を学校長が教育委員会に推薦し、仙台市より委嘱を受け、1年間活動してもらっています。担任の先生からは「とても助かっている」という声が聞かれます。また、サポーターからは「先生の苦

勞がはじめてわかった。」「家庭教育を見直す機会となった。」「子どもと過ごす時間が楽しい。」など、うれしい声を聞くことができました。保護者や地域の方々の温かな協力によって支えられている事業です。

本校では、毎日2人ずつ教室に入っただき、登校時から1時間目、給食時などお手伝いをいただいています。なお、サポーターさんには教育委員会から給食の提供があります。(原則1学級1名)なので、もう1名分はPTA費から、今年度はご負担いただいています。この生活・学習サポーター制度は6月まで続きます。

30時間非常勤講師の配置

今週火曜日から、1年生に非常勤講師の先生が配置されました。今年度34名1学級ということでの配置です。教育委員会には感謝です。学校は現在1～3年生は35人学級、4年生以上は40人学級です。1年生は36名以上だと、2学級になり本校は2名足りないの、1学級になってしまいました。これまでは、必ず2学級あったものですから、人事においても非常に難しい担任配置でした。そこに非常勤講師の先生が配置させたことで、担任、講師、そしてエプロン先生と、複数の目で1年生をカバーできる環境が整いました。やはり人員増強は有り難い、ほっとしている校長です。